

年収約400万円の
家計に例えると…
(市予算の1/5000)

5万人の台所事情 亀山家(市)の家計簿

平成27年度の一般会計予算を5,000分の1にして、家計簿に例えてみます。市の予算にはさまざまな種類の歳入と歳出があり、一般の家庭とは少し

違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…



市税
市民の皆さんから納めていただいた税金。市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など

地方交付税
国税のうち市の取り分として交付されたお金

譲与税・交付金
国税・県税のうち市の取り分として譲与・交付されたお金

諸収入
延滞金、預金利子、貸付金元利収入、雑入など

使用料・手数料
市営施設の使用料や住民票の写しの交付手数料など

国庫支出金
国と市が共同で行う事業のために国が市に支出したお金

県支出金
県が市に対して支出したお金

市債
市が国や銀行から借りたお金

繰入金
市の基金から引き出したお金

繰越金
前年度に残ったお金

おじいちゃんとおばあちゃんから仕送りするね。大事に使ってね。

諸手当が増えて助かったけど、これが続くとは限らないから、安心はできないね。

収入		26年度からの増減
現金収入合計	345万円	(+1万円)
① 給料(基本給)	210万円	(-11万円)
② 給料(諸手当)	61万円	(+13万円)
③ パート収入	13万円	(0万円)
④ 祖父母からの仕送り	61万円	(-1万円)
⑤ ローン(借入金)	32万円	(-16万円)
⑥ 貯金の取り崩し	30万円	(+10万円)
⑦ 繰越金	1万円	(0万円)
収入合計	408万円	(-5万円)

支出		26年度からの増減
生活費合計	284万円	(+14万円)
① 食費	66万円	(0万円)
② 医療費	57万円	(-6万円)
③ 光熱水費など雑費	109万円	(+21万円)
④ 車などの修理代	10万円	(-2万円)
⑤ 教育費	42万円	(+1万円)
⑥ 子どもへの仕送り	33万円	(-7万円)
⑦ ローンの返済	45万円	(-4万円)
⑧ 家や庭の建築・改修	37万円	(-14万円)
⑨ 貸付など	7万円	(+6万円)
⑩ 貯金など	2万円	(0万円)
支出合計	408万円	(-5万円)

- 人件費**
市職員の給料や議員報酬など
- 扶助費**
生活保護、障がい者支援、医療費助成など福祉に使ったお金
- 物件費**
光熱水費、消耗品費、業務委託料など
- 補助費等**
報償費、負担金、補助金など
- 維持補修費**
道路、公共施設を維持するために必要なお金
- 繰入金**
下水道事業や国民健康保険事業などの他の会計への繰入金
- 公債費**
市債の元金・利子や一時借入金の利子
- 普通建設事業費**
道路・学校・庁舎など、公共・公用施設の新築・改修に使ったお金
- 災害復旧事業費**
大雨、暴風などの災害により被災した施設を復旧するためのお金
- 貸付金**
福祉増進や地域振興のために貸したお金
- 積立金**
将来の財源変動に備えて積み立てたお金

ローンの返済があるなかで、子どもへの仕送りも必要だから大変なんだ。

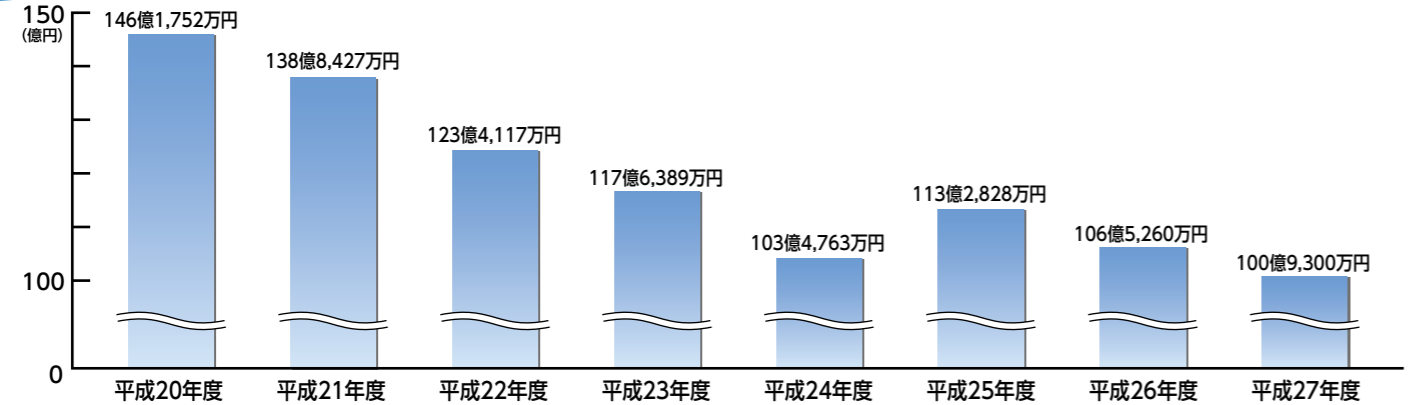
これからは医療費が増えそうだから、食費や光熱水費など、できるところからきりつめないね。

古くなった家や庭の改修も、よく計画してからやろう。

教育費には人件費や物件費、普通建設事業費などが含まれています。



市税収入の推移



平成27年度の家計は...

収入では、昨年度に比べて基本給は少し減るものの、諸手当が増える見込みです。しかし、光熱水費など雑費の支出が増える見込みですので、収入が不足する分は、貯金の取り崩しなどにより補っています。

支出では、ローンの返済額や家などの改築・改修費は減ったものの、教育費や医療費などを含む生活費は増える見込みです。

このような中で、来年度以降も給料の減少が見込まれており、節電や節水に努めるのはもちろん、その他の出費についても無駄がないか徹底的に見直して節約します。また、貯金の取り崩しやローンの借入を最小限にとどめるなど、家計の安定に向けてより一層の努力をしていきます。

家計簿をしっかりとチェックして、収入に見合った支出を心がけないとね。

